

## RCNP 研究会報告

タイトル： 国際ワークショップ" Physics Opportunities using CAGRA and RCNP tracking Ge detector (CAGRA17)"

開催日： 2017 年 10 月 10-12 日

開催場所： 大阪大学 シグマホール

主催等： 主催 大阪大学核物理研究センター (RCNP)

協賛 東京大学大学院理学系研究科附属原子核科学研究センター

理化学研究所仁科加速器研究センター

大阪大学大学院理学研究科物理学専攻

参加者： 64 名 (学内 25 名、海外 14 名、国内他機関 25 名)

世話人： 青井考(RCNP, 共同議長), M.P. Carpenter(米・ANL), P. Doornenbal(理研仁科セ), P. Fallon (米・LBNL), 井手口栄治(RCNP, 共同議長), 今井伸明(東大 CNS), 木村正明(北大理), 小池武志(東北大), Liu Minliang(中・IMP), 新倉潤(東大理), 西村俊二(理研仁科セ), 小田原厚子(阪大理), 櫻井博儀(東大理・理研仁科セ), 鈴木大介(理研仁科セ), 民井淳(RCNP), 宇都野穰(原子力機構), K.Wimmer(東大理), 吉田賢一(京大), K.R. Mukhi(RCNP, 会議秘書)

ウェブ： <http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/cagra17/>

### 概要：

本研究会は現在日米中の国際協力により計画が進行中の Clover Ge 検出器アレイ (CAGRA) 及び現在開発が進行中の RCNP tracking Ge 検出器を用いた物理研究を実験・理論の両面から議論するため、国内外から当該分野の多くの研究者の参加を得て開催した。会議は 3 日間で 17 件の招待講演と 22 件の一般講演からなる計 39 件の講演があり、それに基づく活発な質疑が行われた。

今回はこれまでの RCNP の EN コースでの CAGRA-EN キャンペーン実験で得られた成果、最新の WS コースでの Grand Riden 磁気分析器と CAGRA の組み合わせで行われた CAGRA-GR キャンペーン実験の解析の進行状況についての発表が行われた他、理研 RCNP での今後の実験研究の展開、RCNP tracking Ge 検出器の開発状況、RIBF や MuSIC を活用した更なる研究の展開について議論された。また、アメリカとヨーロッパでそれぞれ進められているトラッキング型ゲルマニウム検出器アレイ (GRETINA/AGATA) を用いた多数の実験成果や今後の計画、理研 RIBF での最新の実験結果や検出器の開発状況についても報告された。更に、関連する理論研究の進展についても報告・議論がなされ、RIBF での低エネルギー不安定核ビーム生成を目指した CNS の OEDO 計画や KEK の KISS プロジェクトの進捗や、印,中,韓,南ア,ルーマニア各国で進行中の計画や研究成果の発表もあった。

このように、本研究会では最新の研究の進展が報告され現状がまとめられると共に、今後の展望についても活発な議論がなされ、中堅・シニアの研究者のみならず、多くの若手研究者・学生にとっても有意義な研究会となった。

**予算執行状況：**

執行額	329,800 円	
内訳 旅費・滞在費	259,600 円	(5名：海外2名、国内若手3名)
会場代	36,000 円	
学生アルバイト	34,200 円	(6名)